

# 当施設における美容医療の安全を支えるための取り組み

——ノンテクニカルスキルを中心に——

## 中辻 隆徳<sup>1</sup> 鎌倉 達郎<sup>1</sup>

Takanori Nakatsuji<sup>1</sup> Tatsuro Kamakura<sup>1</sup>

聖心美容クリニック<sup>1</sup>

社会的に安全意識が高まる中、美容医療分野においても安全文化の重要性が指摘されている。とりわけ、チーム医療における安全や質の確保に不可欠なものとしてノンテクニカルスキルの重要性が高まってきている。ノンテクニカルスキルとは専門家のテクニカルスキルを補い、安全で効率的に職務を遂行できるような認知能力、社会能力、人的資源をうまく活用できる能力のことである。具体的には、コミュニケーション、チームワーク、リーダーシップ、状況認識、意思決定、ストレス管理、疲労対処などが含まれ、チーム医療における安全や質の確保に不可欠なスキルである。

日本の医療事故の要因のうち、テクニカルスキルの不足によるものは10%ほどにすぎず、半数以上がノンテクニカルスキルの不足によるものである。

個人の状況認識における認知能力の限界や、意思決定におけるバイアスを克服し、チームとして未然に医療事故を防止し最善のパフォーマンスを発揮するためには、医療チームのメンバーのコミュニケーションや相互支援が不可欠である。

当施設では全職員に対して医療安全教育や、イントラネットによる情報共有を通じて、職種にとらわれずに懸念や意見を声に出す、いわゆるスピークアップの重要性を意識した医療安全に対する取り組みを行っているので、その一部を紹介する。